



## 家庭児童相談室の窓から

先日、偶然の成り行きで、小学4年生まで暮らしていた町を訪ねました。おとなになって一度立ち寄ったことはありましたが、その地域を歩き回るのは、45年ぶりのことです。

当時の面影はわずかしがなく、記憶を頼りに歩を進めましたが、自宅から小学校までの距離、自宅前の道路の幅、自宅から商店街までの遠さ、なにをとってもわたしの記憶の半分くらいしかありません。まるでミニチュアの世界に紛れ込んだような不思議な感覚に陥りました。地元には浦島伝説があり、小学校には巨大な亀の形をした滑り台があったはずですが、目の前にある滑り台は記憶の3分の1程度のサイズ。予想していたこととはいえ、子どもから見える世界がおとなのそれとこれほど違うものと驚きました。

子どもと話をするとき、おとなが子どもの

目線に合わせなければならないといわれています。身長の高い子どもに対して大きなおとなが上から話をすると威圧感を与えてしまいますし、子どもの目からどんな世界が見えているのかを考えることで、子どもの気持ちにより近づくことができるからです。

子どもの目の高さから物事を見るためにはしゃがみこむだけでなく、想像力が肝心だと今回改めて感じました。巨大な滑り台に上ることは子どもをワクワクさせたものです。もはや滑り台を見てもドキドキしない自分がまるで浦島太郎になったように感じました。

子どもの瞳に映る世界がどう広がっていて、子どもがそれをどう感じているかを想像することは多忙な生活に追われるおとなにとって簡単ではありません。だからこそ、子どもの目線に立つことを意識する必要があると感じさせられたひと時でした。

(家庭児童相談室 相談員 砂川真澄)

家庭児童相談室のご案内

あなたの支えに...  
家庭のこと、子どものこと、自分のこと

熊本学園大学付属社会福祉研究所 家庭児童相談室

家庭や家族に関する問題や、子どもさんのことについて  
ご相談をお受けします。ご心配なこと、お困りなことが  
ありましたら、お気軽にご利用ください。

受付 水曜日10:00~13:00/木曜日10:00~13:00  
(12月30日~1月3日休室)

※本室予約、相談料はかかりません。費用は無料です。

相談室電話 ☎096-364-8732

発行所 熊本学園大学付属社会福祉研究所

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1 ☎096-364-5161 (内線1753)

発行人 所長 長友敬一 編集人 社会福祉研究所委員会

印刷所 コロニー印刷 ☎096-353-1291



■古紙再生率100%の再生紙を利用しています。

■揮発性有機化合物発生の抑止と紙のリサイクル性に優れた「大豆インキ」を使用しています。